

# 大学院を1年で修了できる

## 4 + 1 制度 知っていますか？

### 1. 4 + 1 制度ってなに？

本学学部を卒業した者を対象に、本学大学院（国際地域学研究科）に入学後、最短1年で修士号を取得できる制度です。

※本学学部4年間 + 大学院1年間 → 学部と併せて通算5年間で大学院を修了できます。

### 2. 大学院では何を学ぶの？

国際社会、地域国際関係、地域（各国）研究の3プログラムに加えデータ分析や英語アカデミック・ライティング及びプレゼンテーション等を学びます。

4 + 1 制度を利用して学部4年生から大学院の授業を受けることができます。

※大学院科目等履修生制度は学部3年生から履修可能です。希望者は事務局②窓口に相談ください。

### 3. 授業料・奨学金制度

学部4年生時は大学院の入学金・授業料は不要です。大学院に進学後、1年間分の入学金・授業料で修了することができます。また、大学院進学後に応募できる奨学金制度では、成績優秀者に225,000円（年額）が給付されます。

※奨学金制度は大学院進学後に応募してください。

※本学出身者（1年次生のみ）1名が優先給付の対象となります。

### 4. 募集について

申請期間：3月中旬まで ※教務学生課にお問い合わせください。

申請対象：新潟県立大学 3年生以上

問合せ先：新潟県立大学 教務学生課

※申請書類などの詳細は「[新潟県立大学大学院科目の履修について](#)」を御確認ください。

※4 + 1 学生は大学院棟の研究室を24時間利用することができます。

※大学院には留学生も在籍しています。

※4 + 1 制度を検討している方は、事務局②窓口、アドバイザー教員に相談してください。

# 新潟県立大学 4 + 1 制度利用者紹介



藤本 文 Aya Fujimoto

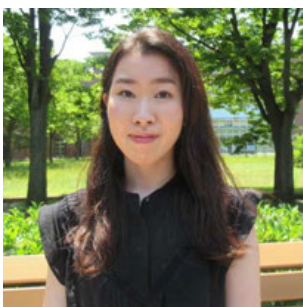
新潟県立大学 令和2年度卒業

国際地域学研究科 令和3年度修了

株式会社K S K 就職

私は、国際関係学についてより深く学びたい、学部の卒業研究を通して得たさらなる疑問を追求したいという思いから進学しました。また、4+1制度を使うことで大学院を実質1年で卒業できるというメリットがあり、時間や学費の面でのアドバンテージも進学を決める後押しとなりました。

本大学院では、授業によっては日本語と英語双方の言語で開講されています。また、インプット量もアウトプットの機会も多いため、学部在籍時より多忙でしたが、先生方によるきめ細やかな指導をいただき研究に励むことができました。そして、年齢や国籍の異なる学生もいます。大学院生用の共同研究室で話したり、授業を共に受けることで交流し、異なる視点や価値観に触れる機会があることも魅力です。



嶋 悠里 Yuri Shima

新潟県立大学 令和元年度卒業

国際地域学研究科 令和3年度修了

千葉県教育委員会就職

私は学部の卒業論文に取り組んでいる際、私が本当にやりたいことを研究するには、時間と知識が足りないと感じました。そこで、4+1制度に申し込むことを決めました。学部の4年時に修士課程1年目の科目を受講できるため、専門的な学びを卒業論文に反映させたり、卒業論文と修士論文の内容の連続性をはっきりと意識したりすることができました。また、以前から修士課程で研究したいと思っていましたが、学費の工面が難しかったため、一度就職をしようと考えていました。しかし、出来ることなら、自身の学問的な学びを深めてから社会に出たいと思っていたため、4+1制度が理想的で効率的な道だと感じられました。

大学院の講義は大変ですが、様々な知識や考え方に触れ、より批判的な思考力を手に入れることができます。少しでも関心のある方は、ぜひ4+1制度を視野に入れてみてください。



内藤 五月 Satsuki Naito

新潟県立大学 令和元年度卒業

国際地域学研究科 令和2年度修了

株式会社田中衡機工業所 就職

「20代前半で社会に出たいけど、もっと研究もしたい」という希望を叶えたのが4+1制度でした。私は、国際開発における教育とジェンダーを中心的に研究しました。自分と同じような若い女性が、教育を受けられないがために社会的に不利な立場に置かれているという現実を、深く理解し自分なりの答えを持ちたいと考えたことがきっかけです。同時に、社会に出て世の中を知り、働く経験を積みたいとも考えていました。他者が2年かけて行うことを自分は1年で経験するという事は、それだけで大きな挑戦です。ですが、働き始めた今はそれが自信へと繋がっています。

新社会人になってからは、覚えることも多く身に付けなければならないスキルも多いですが、「大学院を最短1年で修了できた私なら大丈夫！誰よりも吸収力がある」と思っています。後輩の皆さんの充実した院生生活を応援しています。